

令和2年度 小規模多機能型居宅介護「サービス評価」総括表

法人名	社会福祉法人 京都社会事業財団	代表者	野口雅滋	法人・ 事業所の 特徴	事業所の理念【「思い」「暮らし」「絆」を支援する】を職員全員が共有し実践できる体制を構築し、利用者の「思い」の実現に向けた支援を目指しています。事業所は長年、地域の人々に親しまれた集会場を改修し併設され、地域福祉の拠点となっています。地域行事等、地域の住民協働による活動に積極的に参画し、地域との繋がりを大切に事業運営をしています。
事業所名	京都厚生園松尾の家	管理者	志田彰大		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	人	3人	人	1人	2人	人	1人	人	7人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取り組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	利用者自身が「したい→してみる→できる」を意識し、まずは「したい」ことを具体的に把握し、実践できることの共有を行う。	日々の関わりの中で聞き取った思いを支援マップや記録に落とし込みミーティングや職員会議にて共有、検討を行った。聞き取った思いの実践にはなかなか至らなかった。	事業所自己評価を見ながら前回の改善計画に対して取り組みはされていると思うが、なかなか伝わってこない。伝え方を工夫した方が良い。	・事業所での取り組みが伝わるよう工夫改善を行う。具体的には日々のご家族とのやり取り、ブログなどのツールの活用、広報誌等、取組んだことが相手に伝わるよう可視化を図る。運営推進会議においても報告内容、伝え方の検討と改善を行う。
B. 事業所のしつらえ・環境	事業所内の吹き抜け部分の窓など、高所清掃、外付けのエアコンの清掃を業者依頼する。	・今年度計画していた場所の清掃はできなかった。コロナ対策としてリビングにアクリル板の設置、手指消毒機器の設置、密を避けること、畳で過ごせるご利用者が少ない状況から廊下間をフローリングへ改修を行った。	事業所に入る機会がなくなっていることからわかりにくい部分が多いですが、特段気になることはありません。	・今年度実施できなかった高所清掃、エアコン清掃の実施を行う。 ・今後も継続するコロナ対策を実施する中でご利用者に居心地が良いと感じていただける環境、設えの検討と実施を行う。
C. 事業所と地域のかかわり	利用者が地域で暮らすために松尾の家と地域(かかりつけ医・近隣住民・民生委員・学区社協・商店等)の連携が具体的に利用者・家族にも見えるようにする。地域の行事や催しへの参加の機会を持ち利用者の馴染みの地域での暮らしを職員が知る機会を持つ。	地域の行事や催しへの参加機会を持つことはできなかった。ご利用者との関わりの中で、ご利用者と地域の関係性について知る機会があり、知り得た情報は支援マップに落とし込み、職員間で情報共有を図ることができた。ご利用者、家族に対して可視化を図る取り組みはできなかった。	・松尾学区を中心にもっとアピールをするべき。松尾学区でも松尾の家の事を知らない方もいる。どんなところでどんなことをしているのか知ってもらえるように営業や広報をするべき。地域の方と普段から顔が見える関係を作れるように工夫改善が必要では？例えば書面で済むようなこともあえて顔を出すなど。	・「今までの暮らし」「今の暮らし」「これからの暮らし」を事業所だけで共有、考えることはせず、知り得た情報をご家族や介護者等とも共有する。 ・ご利用者の生活を支援する中で松尾の家が中心になるのではなくご本人を取り巻くご家族、地域の方々と相談検討を行っていく。普段から顔の見える関係を築く。 ・松尾の家を知って頂くための営業や広報活動の検討・実施
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取り組み	単に情報を書き込むだけでなく、地域のどこか、誰が、どのように支えてくれているのか、本人が頼りにしているのは誰かを見える情報を共有する機会(個別地域ケア会議)を持つ	個別地域ケア会議の機会を持つことはできなかったが、ご利用者と関わりのある近隣の方に対して見守りや声掛け等の支援協力を依頼。事業所にも気になったことをご連絡いただけるような関係を築く取り組みは行えた。	・コロナの加減で今年度は関わりが殆どない状態だったが、昨年度の状況からは地域とのかかわりはあると思う。 ・Cでも述べたように地域の方へもっとアピールするべき。何かあった時だけではなく普段から	・ご本人の生活を松尾の家で完結しない。ご本人、ご家族、関係してきた地域の方々が出ている出来る事、役割は残しながら支援の検討を行う。
E. 運営推進会議を活かした取り組み	利用者と家族の参加を積極的に促し利用者の地域での新たな役割や困りごとの相談の機会を持つ。	・利用者、家族の参加を積極的に促すことはできなかった。 ・書面開催での実施が多い状況であったが、参加者の方への伝え方、ご意見の伺い方を模索する一年となった。	・今年はコロナの加減で集まったの開催があまりできなかったが、もっと事業所の取り組みが書面以外で伝わればよい。多分色々されているとは思いますが、見えてこないことが多い。	・利用者と家族の参加を促し、松尾の家での取り組みを知って頂く。 ・事業所での取り組みを知って頂けるよう運営推進会議内容の見直し、資料の改善。ご利用者、ご家族、委員の方々に伝わるように。
F. 事業所の防災・災害対策	停電を想定したマニュアルの見直し、アクションカードの整備を徹底する。	停電を想定したマニュアルの見直し、アクションカードの整備に取り組むことはできなかった。	防災・災害対策は概ねしっかりされていると思います。	・令和3年度の制度改正により義務付けとなる事業継続計画(BCP)の作成、運用に取組む。(災害・感染症共に)

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日	1回目：令和2年11月13日（金）14：00～15：00 2回目：令和2年11月25日（水）14：00～15：00
-----	--

1. 初期支援（はじめのかかわり）

メンバー	1回目：志田 松浦 佐藤 山内 竹中 大東 橋本 2回目：柏木 志田 鈴木 横山 平田 池田
------	---

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	0人	7人	3人	2人	12人 (未記入1名)

前回の改善計画
<p>【目標】新規利用開始前の情報収集とケアの統一を、職員間で情報共有し実施する。</p> <p>【計画】期間：12ヵ月</p> <p>①効率的に情報収集できるように、面接時に使用する「聞き取りシート」を作成する。</p> <p>②「聞き取りシート」をもとに、利用者の心身の状態について職員間で共有し、利用開始前に必要な支援について検討する。</p>
前回の改善計画に対する取組み結果
<p>・事前相談時に相談内容を整理し面接時までには部署内で情報の共有と面談時に確認する内容を整理していく流れができてきた。面談後は情報を整理しご本人、ご家族のニーズ、支援の方向性、目標を職員間で共有して行くことができてきている。但し聞き取りシートを作成し活用するまでには至っていない。</p>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか？	1	8	1	2	13
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか？	1	9	1	2	13
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか？	3	7	1	2	13
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか？	9	8	2	3	13

できている点
<p>・利用開始までにCMが収集してきた情報を共有しご本人やご家族のニーズ、希望を把握した上で受入れが行えるようになってきている。初回利用時には積極的に話しかけ不安な気持ちを和らげられるよう配慮ができています。利用開始時にニーズや支援の方向性を明確にして1か月後に評価を行い、より具体的に支援内容を整理したり、ニーズの実現に向けての確認が行えて来ている。</p>

できていない点
<p>聞き取りシートの作成はできないまま現状のシートを使用して情報整理を行うに至った。ご利用されてから徐々に知る情報もあり、ご本人のニーズについて把握できていないことがある。書面だけではご本人の全体像がなかなか見えてこない部分がある。ご利用されたからご本人の全体像をつかんでいくことも多い。</p>

次回までの具体的な改善計画
<p>【目標】新規相談から初回受入れ迄に必要な情報収集とチームでの共有を具体的にイメージできるようになる。</p> <p>【計画】12か月</p> <p>①新規相談から初回受入れ迄の情報収集とチーム内での共有、検討の流れをルール化し明確にしていく。</p> <p>②CMだけが初回受入れ迄の調整をするのではなく、直接支援をする職員も一緒に面談に立ち合い、ご本人の全体像を把握するとともに具体的な支援内容を検討し実行できる仕組みを作る。</p>

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日	1回目：令和2年11月13日（金）14：00～15：00 2回目：令和2年11月25日（水）14：00～15：00
-----	--

2. 「～したい」の実現（自己実現の尊重）

メンバー	1回目：志田 松浦 佐藤 山内 竹中 大東 橋本 2回目：柏木 志田 鈴木 横山 平田 池田
------	---

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	0人	9人	1人	3人	13人

前回の改善計画
【目標】利用者の願いを聴き、一つでも叶える取り組みを考える。 【計画】期間：12ヵ月 ①今できていること、大切にしていることを知って、継続できることを考える。やってみたいことへのアプローチを一緒に考える。
前回の改善計画に対する取組み結果
支援マップを作成しご利用者の「～したい」の思いを聞き取ることはできてきている。また一部ではあるが、思いの実現ができてきている。ご本人の思いを知る場面は増えてきている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人数）
①	「本人の目標（ゴール）」がわかっていますか？	0	6	7	0	13
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか？	0	9	4	0	13
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか？	0	9	4	0	13
④	実践した（かかわった）内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか？	1	9	1	2	13

できている点
支援マップを活用しながらご利用者の思いを知り、日々の支援に反映することができている。日々の変化や気づきを記録に残し、ミーティングにて本人のしたいことやできることを検討や模索することができている。小さなことではあるかもしれないが、ご本人の「～したい」の実現ができた場面もあった。

できていない点
ご本人の「～したい」の思いを聞き、支援マップに落とし込むことはできてきているが、実現まで至らないことが多い。ご自身で思いをしっかりと伝えられる方は知ることや実現することができているが、ご自身でうまく伝えられないご利用者や「もうしたいことはない」と仰るご利用者の本音や諦めてしまっている願い迄掘り下げて知ろうとしたり知ることができていない。

次回までの具体的な改善計画
【目標】聞き取った「～したい」を実現できる仕組みを作る。 【計画】12ヵ月 ①定期的にカンファレンスや協議する場を設け実現に向けての具体的な目標（いつまでに・だれが・何をどうするのか？）を決め実現できる仕組みを作る。 ②ご本人から聞き取れないご利用者へのアプローチをしていく。ご本人との関わりを意識的により掘り下げたり、ご家族や友人などご本人を取り巻く方からの聞き取りをしていく。聞き取りはCMだけではなく、現場の職員も共に目標の実現に向けて共有し働きかけを行う。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日	1回目：令和2年11月13日（金）14：00～15：00 2回目：令和2年11月25日（水）14：00～15：00
-----	--

3. 日常生活の支援

メンバー	1回目：志田 松浦 佐藤 山内 竹中 大東 橋本 2回目：柏木 志田 鈴木 横山 平田 池田
------	---

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	1人	6人	3人	3人	13人

前回の改善計画	<p>【目標】本人を知る人からの協力も得ながら、「自宅での生活」について情報収集し、これまでの生活の継続性を支援する。</p> <p>【計画】期間：12か月</p> <p>①「これまでの暮らし」や「大切にされていること」等を聞き取り、プランの目標に繋げ支援する。</p> <p>②気づいたこと、聞き取った新しい情報を経過記録に残し情報の共有を図る。</p>
前回の改善計画に対する取組み結果	<p>気づきや聞き取ったことを経過記録に残し情報共有を図ることはできている。しかしそこからケアプランに反映し具体的な支援に反映することができていない。</p>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし」が10個以上把握できていますか？	0	4	3	6	13
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか？	3	9	1	0	13
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか？	1	7	4	1	13
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか？	2	10	1	0	13
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか？	1	11	1	0	13

できている点	<p>気づきや聞き取ったことを経過記録に残し情報共有を図ることはできている。ほとんどの職員が気づきを共有する意識を持っている事、聞き取る意識をもって関わっていることができています。</p>
--------	--

できていない点	<p>共有するだけでとまっている。聞き取ったこと、気づきがケアプランの目標に反映できておらず、職員個々の能力や意識で留まってしまっている。今のご本人に着目することはできているが、「これまでの暮らし」「これまで大切にされてきたこと」の把握は不十分。</p>
---------	---

次回までの具体的な改善計画	<p>【目標】気づきや聞き取ったことを支援に繋がられるようにする。</p> <p>【計画】12か月</p> <p>①「今までの暮らし」「今の暮らし」「これからの暮らし」を事業所だけで共有、考えることはせず、知りえた情報をご家族や介護者等とも共有し、ご本人を中心にご自宅での生活。松尾の家を含めた24時間365日の暮らしを考え支援に繋げていく。</p> <p>②松尾の家がご本人の中心になるのではなく、ご自宅やご本人を取り巻く環境の中に松尾の家があるイメージを持つこと。</p>
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 1回目：令和2年11月13日（金）14：00～15：00
2回目：令和2年11月25日（水）14：00～15：00

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 1回目：志田 松浦 佐藤 山内 竹中 大東 橋本
2回目：柏木 志田 鈴木 横山 平田 池田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	0人	7人	3人	3人	13人

前回の改善計画
【目標】 家族等から「以前の暮らし方」について積極的に情報収集し、利用者の地域での暮らしや活動に繋げていく。
【計画】 期間：12か月
 ①家族等に協力を得て「私の支援マップシート」を作成し、身近で支援したり、心配してくれる方々の存在を把握する。

前回の改善計画に対する取組み結果
 ご本人やご家族から思いを聞き取り支援マップシートに落とし込むことができている。「今」の意識は持っているが、「今まで」「これから」の意識が薄い。今まで繋がりがあった地域や民生委員、老福等とのつながりはあまり把握できていない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか？	0	8	4	1	13
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか？	0	7	2	3	12 (1名未記入)
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか？	0	3	6	3	12 (1名未記入)
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか？	0	2	4	6	12 (1名未記入)

できている点
 ご本人から「今」の思いを聞き取り支援マップや経過記録に残し共有することはできている。聞き取りの中から馴染みの美容室に行きたいとの思いを聞き取り実現できた事例もあった。
 今迄の地域の方との繋がりを知り、関係性を継続したり、事業所が関わっていない時間のご本人の様子を知ることができた方もいる。

できていない点
 松尾の家でご本人の生活を抱えてしまう傾向が強く、ご本人の「今まで」の繋がりを継続できるような支援ができていない。松尾の家で支援が完結してしまっている状況がある。

次回までの具体的な改善計画
【目標】 ご本人の生活を松尾の家で完結しない。取り上げてしまわない。
【計画】 12か月
 ①ご本人が今繋がっている地域や家族との関係を知ること（ご本人、ご家族から）
 ②知り得た情報から継続している関係性を途切れさせないような支援を行う。（ご本人ができること、ご家族ができること、地域とつながり、地域が担ってきたことは残しながら、サービス利用の予定やサービス量等を考える。）

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 1回目：令和2年11月13日（金）14：00～15：00
2回目：令和2年11月25日（水）14：00～15：00

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 1回目：志田 松浦 佐藤 山内 竹中 大東 橋本
2回目：柏木 志田 鈴木 横山 平田 池田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	0人	7人	3人	2人	12人 (1名未記入)

前回の改善計画
【目標】 地域の見守り支援や訪問配食サービス、など、地域のサービスの実態把握を行う。
【計画】 期間：12か月
 ①利用者の強みをスタッフ間で共有して、必要な支援とその量について協議し、経過と変化を記録する。

前回の改善計画に対する取組み結果
 ご利用者の強みへの意識はまだまだ薄い。その日、その時のご本人の状態やニーズに合わせて訪問や宿泊など柔軟な対応はできている。経過や変化についても経過記録に残すことができている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか？	0	7	5	0	12 (1名未記入)
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか？	0	7	5	0	12 (1名未記入)
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか？	2	10	1	0	13
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか？	4	8	1	0	13

できている点
 地域資源を活用する視点は少しずつ意識できてきている。ご利用者のニーズや状態変化に合わせ柔軟にサービスを組み合わせ支援することができている。
 経過記録にはご本人の様子や変化を記録に残すことができ、毎朝のミーティングで共有し支援に繋げることができている。

できていない点
 松尾の家で支えてしまう傾向は強く、地域資源を活用する機会は少ない。地域資源の情報が把握できていない。

次回までの具体的な改善計画
【目標】 自分たちの事業所だけで抱えない支援を考え実行すること
【計画】 12か月
 ①地域資源を知る。知るために包括支援センターから情報収集を行う。部署内での勉強会を行う。
 ②ご利用者に必要な支援が出てきた際に「ご本人ができること・できていること」「ご家族ができること・できていること」をまず整理する。次に社会資源の活用ができないかを考える。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日	1回目：令和2年11月13日（金）14：00～15：00 2回目：令和2年11月25日（水）14：00～15：00
-----	--

6. 連携・協働

メンバー	1回目：志田 松浦 佐藤 山内 竹中 大東 橋本 2回目：柏木 志田 鈴木 横山 平田 池田
------	---

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	0人	5人	2人	5人	12人 (1名未記入)

前回の改善計画	<p>【目標】利用者の暮らしを支えるために、小規模だけで抱え込まない。</p> <p>【計画】期間：12か月</p> <p>①地域の各種団体と一緒に活動する機会を持つ。（地域ケア会議、認知症サーポーター養成講座等に参加）</p> <p>②「私の支援マップシート」を作成して、適宜、追記記載していく。</p>
前回の改善計画に対する取組み結果	<p>地域の各種団体と一緒に活動する機会は持てなかった。</p> <p>支援マップシートを作成し情報を追記していくことはできた。</p>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人数）
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？	2	5	0	5	12 (1名未記入)
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	0	1	4	6	11 (2名未記入)
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？	1	1	3	6	11 (2名未記入)
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？	0	0	4	7	11 (2名未記入)

できている点	<p>関係機関との情報共有や連携は細かに行っていた。</p> <p>事業所として他機関との繋がりを持っている。</p> <p>事業所のある井戸パークで遊んでおられる子供さんや地域の方とは距離は保ちながらであったが、挨拶や近況報告、情報交換など繋がりを継続して持てることができた。</p>
--------	---

できていない点	<p>コロナ過で今まで関わってきた地域の方との繋がりが途絶えてしまっている。ボランティアの方の受け入れも中止したままで経過している。</p>
---------	--

次回までの具体的な改善計画	<p>【目標】地域との繋がり、協働について出来ることを検討し実行する。</p> <p>【計画】12か月</p> <p>①今までのやり方に捉われずどうしたら何が出来るかを考える。</p> <p>②考える際には事業所だけで考えることはせず、地域の関係機関や団体の方等にも協力を仰ぎ、一緒に出来ることを模索していく。</p>
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日	1回目：令和2年11月13日（金）14：00～15：00 2回目：令和2年11月25日（水）14：00～15：00
-----	--

7. 運営

メンバー	1回目：志田 松浦 佐藤 山内 竹中 大東 橋本 2回目：柏木 志田 鈴木 横山 平田 池田
------	---

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組めましたか？	0人	3人	3人	6人	11人 (2名未記入)

<p>前回の改善計画</p> <p>【目標】地域に必要とされる拠点を目指す。 【計画】期間：12か月 ①地域行事、地域の活動に積極的に参加し、地域の声を聴く機会をもつ。</p>
<p>前回の改善計画に対する取組み結果</p> <p>・地域行事や地域活動に参加する機会は持てなかった。地域の声を聴く機会を持つこともできなかったが、声を聴く姿勢は持っていた。</p>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人数）
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができているか？	0	8	1	3	13
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか？	0	8	1	2	12 (1名未記入)
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか？	1	6	2	3	12 (1名未記入)
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか？	1	1	5	6	12 (1名未記入)

<p>できている点</p> <p>事業所のあり方についての意見交換は事業所内で活発にできていた。ご利用者、ご家族等からのご意見や苦情も前向きに捉え、同じことを繰り返さない、ご本人により満足していただけるようなサービス提供を行えるよう振り返り、改善点を検討していくことができている。 一部の方ではあるが、常日頃からの挨拶や関係性は継続して保っている。</p>
--

<p>できていない点</p> <p>コロナ過で地域と協働した取組みや活動はほぼできていない。意見などを伺う機会もほとんど持てなかった。</p>

<p>次回までの具体的な改善計画</p> <p>【目標】地域の方からの意見や提案をいただき、今後も協働していくために出来ることを検討し実行する 【計画】12か月 ①地域包括支援センターから地域の状況やニーズを伺い、事業所としてできることを考え実行する。 ②運営推進会議の場や今までの地域の方との繋がりから今後の協働や事業所のあり方についてご意見をいただき出来ることを考える。</p>

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日	1回目：令和2年11月13日（金）14：00～15：00 2回目：令和2年11月25日（水）14：00～15：00
-----	--

8. 質を向上するための取組み

メンバー	1回目：志田 松浦 佐藤 山内 竹中 大東 橋本 2回目：柏木 志田 鈴木 横山 平田 池田
------	---

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	1人	8人	1人	1人	11人 (2名未記入)

前回の改善計画	<p>【目標】訪問援助でのリスクについて担当者中心に意識的に取り組み、スタッフ全員で情報を共有する。</p> <p>【計画】期間：12か月</p> <p>①外部研修等に現場スタッフが参加できるように、研修計画を作成する。</p> <p>②訪問援助技術について部署内研修を実施し、チームのスキルアップを図る。</p>
---------	---

前回の改善計画に対する取組み結果	<p>研修計画の作成はできなかったが、コロナ過での訪問支援を学ぶための資料や動画、研修参加を行い、訪問支援の見直しができた。また見直した内容を部署内で共有し具体的な支援に繋げることができていた。</p>
------------------	---

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人数）
①	研修（職場内・職場外）を実施・参加していますか	2	7	2	2	13
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	0	4	2	7	13
③	地域連絡会に参加していますか	0	1	3	6	10 (3名未記入)
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	1	6	2	2	11 (2名未記入)

できている点	<p>部署内、園内での研修は実施し日々の支援の見直しや改善を行うことができています。</p> <p>全ての職員ではないがスキルアップのための自己研鑽を行えている。</p> <p>感染症予防の観点から資料や動画などから知識を得て、日々の感染症予防対策の実践に繋がられている。</p>
--------	--

できていない点	<p>職場外での外部研修などの機会はほとんど持てなかった。訪問援助のスキルアップ研修を部署内で実施することはできなかった。</p>
---------	---

次回までの具体的な改善計画	<p>【目標】継続して訪問援助時のリスクを学ぶと共に訪問援助の質を向上する。</p> <p>【計画】12か月</p> <p>①訪問援助時のリスクについて整理し部署内で共有、学ぶ場を設ける</p> <p>②訪問援助時の手順の見直し、整理を行う</p>
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 1回目：令和2年11月13日（金）14：00～15：00
2回目：令和2年11月25日（水）14：00～15：00

9. 人権・プライバシー

メンバー 1回目：志田 松浦 佐藤 山内 竹中 大東 橋本
2回目：柏木 志田 鈴木 横山 平田 池田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	1人	10人	0人	0人	11人 (2名未記入)

前回の改善計画
<p>【目標】 個人情報を適切に取り扱う。松尾の家の「介護ルール」を遵守する。 【計画】 期間：12か月 ①パソコンにある個人情報の取扱いについて、マニュアルの見直し及び周知徹底。 ②松尾の家「介護ルール」が遵守できるように自己評価を実施し課題を抽出。課題についてはチームで改善案を検討し実践に繋げる。</p>
前回の改善計画に対する取組み結果
<p>マニュアルの見直し、及び自己評価の実施をすることはできなかった。</p>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	身体拘束をしていない	11	2	0	0	13
②	虐待は行われていない	11	2	0	0	13
③	プライバシーが守られている	2	11	0	0	13
④	必要な方に成年後見制度を活用している	3	6	0	2	11 (2名未記入)
⑤	適正な個人情報の管理ができている	4	9	0	0	13

できている点
<p>個人情報やプライバシーについての研修が実施できており、事業所での課題を整理することができており、改善策の検討も行えている。身体拘束や虐待については行っておらず、支援が難しい方の対応については職員個人で抱え込まずチームで共有し対応について検討することができている。（虐待に繋がる芽を摘むことができている）</p>

できていない点
<p>トイレの声掛け時などやスタッフ間の申し送り、情報共有時に配慮が欠けており、個人情報やプライバシーの面で守られていない場面があった。 ご利用者の様子を記録する書類等の管理が不十分な時がある。</p>

次回までの具体的な改善計画
<p>【目標】 個人情報、プライバシーへの配慮、環境整備、ルール作り 【計画】 12か月 ①書類管理のルール化 ②書類が管理しやすくなるための環境整備 ③情報共有や申し送り場所、方法の検討</p>